

人と夢を紡ぐコミュニケーションマガジン

FD

Fine Dream

NO. 福岡大学学園通信
36 January, 2012



進 しん

人をつくり 時代を拓く。



福岡大学

WINTER



FD
Fine Dream

FDは、「この福岡大学のキャンパスで在学生の皆さん一人一人が、美しく素敵な夢(Fine Dream)を育んでくれるように」との願いを込めるとともに、あわせてFUKUOKA DAIGAKUの頭文字を構成し、愛称として名付けられています。

「進」

キャンパスでの学びや出会いが
次の一步を踏み出す力になる。

Contents

③ 特集「新しい明日へ」

- 学長抱負 ○新役職員の紹介
- 新学部長の紹介 ○その他新役職員の紹介

⑯ 時代を駆ける先輩たち

特命全権大使 在コンゴ民主共和国日本国大使館 富永 純正さん

⑮ 先生の研究

遠藤 正浩 工学部機械工学科教授
金属疲労の研究 -モノの寿命を予測する-

⑰ 充実Campus Life

薬学部薬学科 3年次生 高武 華子さん

⑲ 時は流れて

㉑ 情熱の証 ○応援指導部(プラスバンド部門)(リーダー部門)

㉓ 就活日記Myチャレンジ

- 株式会社サンキュードラッグ 杉本 有衣さん
- 熊本朝日放送株式会社 高崎 恵理さん

㉕ 教育クローズアップ

共通教育科目 総合系系列科目 現代を生きる(災害から自分や家族を守る)

㉗ FUKUDIARY

2011年度 第7回学生チャレンジプロジェクト

㉘ Fの鼓動

岸野 慎司さん(商学部貿易学科 1997年卒業 法科大学院第3期生)

㉙ 知っていますか?「花押」

㉚ カラダのカガク 運動を考える[後編]

㉛ 特別企画 福岡大学の医療展開

「脳卒中医療の明日へ」 井上 亨 医学部脳神経外科学教授(福岡大学病院 副病院長)

㉕ 私のとおきの一冊／ヒューマンディベロップメントセンター

㉖ ななくま通信

㉗ ARCHIVE-甦る記憶-【卒業式での学長告辞】

㉘ 地域の福大サポーター

FD

第36号(通巻206号)平成24年1月16日発行

編集・発行:福岡大学広報委員会(福岡大学企画部広報課)

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19-1

TEL:092-871-6631(代) E-mail:fupr@adm.fukuoka-u.ac.jp

FDJに対するご意見、ご感想をお寄せください。

より良い広報誌づくりのために、本誌に対する読者の皆さまからのご意見、ご感想などをお待ちしています。
また、情報提供がありましたらお知らせください。

建学の精神

思想堅実・穩健中正
質実剛健・積極進取

【教育研究の理念】

「人材教育」と「人間教育」の共存
「学部教育」と「総合教育」の共存
「地域性」と「国際性」の共存

福岡大学の三つのポリシー

アドミッションポリシー

本学の「建学の精神」を理解した、次のような人たちを広く国内外から受け入れます。

- 1.考え方があらかじめおり独断や偏見にとらわれない生き方を求める人
- 2.温厚で包容力がありバランス感覚に優れた能力を身につけたい人
- 3.誠実で責任感が強く何事にも屈しない人生をめざす人
- 4.新しいこと、困難なことに自ら進んで取り組んで行こうとする人

カリキュラムポリシー

本学の「教育研究の理念」に基づき、すべての学生に提供する「共通教育科目」と、各学部学科に設置する「専門教育科目」の二つを大きな柱とし、それぞれの学部学科の教育目標にあわせたカリキュラムを編成します。また、正課外教育においても、充実した各種教育プログラムを展開し、全教職員で本学学生の人間的成長を支援し、全人教育を実現します。

- 1.全学に提供する共通教育科目をとおして、専門性にとらわれない幅広い視野と豊かな人間性を持つ人材を育成
- 2.各学部学科が設置する専門教育科目をとおして、専門的な知識や技能を高め、社会の進歩や変革に応え得る深い学識を有する人材を育成
- 3.様々な教育プログラムをとおして、国際性と地域性を兼ね備えた21世紀に適用する人材を育成

ディプロマポリシー

本学の教育課程においては、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与します。

- 1.修得した知識・技能・態度により、自らが発見した新たな課題を解決する力
- 2.職業生活・社会生活に必要な知的活動を支えるコミュニケーション能力や論理的思考力
- 3.自律しながらも他人と協調して行動でき、社会の一員として社会の発展に寄与できる力



新たに結んだ人との絆。
心の底から語った恩師や友。
夢を叶えようとする者に、
進むべき道を追い求める。
今を実りある時にして、
真摯に応えてくれる。
さあ、輝ける未来へと進もう。

しん

アジアを見据えた地域の総合教育拠点へ

2011年12月1日付で、福岡大学長に再任された衛藤先生に抱負を伺いました。



福岡大学長 衛藤 卓也 博士(商学)

Takuya Eto

「知」を吸収する環境を
さらに充実させる

われの学部における「専門知識」と、専門分野における「知識」をもつて、学生は論理的分析力・思考力・適切な判断力などを養っていくべきです。そして、もう一つ大切なのが「生活知」(経験知)です。課外活動、ボランティア活動、留学といった正課外の活動を通して、人としてのマナー・や良心・道理・正義など、精神にかけての「知」を身に付けていきます。

大学としてこれら「知」を蓄積していくことで、個人個人の知性・感性・品性・人間性の形成に貢献できることを考えています。

知の領域を抜く大学において、私たち教員は学生に知を提供する側であり、授かる側はパッシブつまり受け身と考えがちです。しかし大学で学ぶ以上、学生の皆さんにはもっとアクティブラーニングの位置付けでなければなりません。自ら進んで知を吸収する獲得することで、勉学の効果は上がっていくのです。「つまり、「知」の主体的な吸収こそ学びの皆さんたる使命だと言えるでしょう。

そのために、私たちは学生の皆さん方が知の

豊かな人材を育成するため
留学制度の拡充を図る

見据えた地域の総合教育拠点とならなければならぬと考えています。そのためには、さまざまな方策を取っていきます。その一つを例に挙げれば、新学部創設の構想です。07-02年に学部体制となって以降、時代の変化に伴う、学科の改編は行なってきましたが、学部によっては10年間もまとまらないで、なぜか地域を軸に幅を広げてきました。教育力をさらに高めていくためにグローバルな観点を持つた学部改編を検討していく時期に来ていると言えるでしょう。

同時にアジアからの留学生をもと壇やるべきだと思います。ただ、留学生を多くやみに増やすのではなく、学んだことを自分で生かし、その国のためにリーダーとして

安定と発展の両立で
本学の使命を守り続けます

福岡大学が掲げる大切な目標の「つに」安定と発展があります。大学とは「財」と「学」とが両立してこそ、成り立っていくものです。大学がその使命を果たすためには、健全部なる経営で大学そのものを安定維持していく必要があります。

大学の健全経営は大きく左右するのが受験生の動向です。少子化問題や18歳人口の問題が随分取りざたされています。受験生に魅力的な大学と感じてもらえるよう、私たちは常に競争力の強化や経営基盤の安定を図り、ダイナミックな改善・改革を行っていくことが重要となります。

育研究、医療、社会連携の4つの機能を担う
総合大学ですが、その中でも教育を軸にし
た人材育成を図ることが最も重要な使命で
す。地域と国およびアジアを支える大きな
人間づくりに貢献すること、それが本学の責
務であると考えてます。私たち教職員は、
一人一人がこのことを強く意識して、学生の
皆さんを在学中に少しでも教えていき、
皆さんの人間的成長のため努力をしていか
なければなりません。

一方、福岡大学の存在感やブランド力を高
めるのは、大学側が行う施策だけではありません。
せん学生の皆さんが高いモチベーションを持
ち、より積極的な自学自習を行うことで、人
として成長していくことが何よりも大学
の魅力となるのです。

学生生活は人生の中で最も余裕がある
時間です。建学の精神に基づき、多彩な活動
や勉強を通して、生きる力と人間力を身に
付け、社会を支える強力な支柱となつてくれ
ることを望みます。私たちとともに、福岡大
学を心から誇れる大学にしていきましょう。

大分県大分市生まれ
経済学部経済学科卒業
大学院経営学研究科博士課程満期退学
専攻 交通経済学・交通政策

1945年大分県大分市生まれ
大分大学経済学部経済学科卒業
神戸大学大学院経営学研究科博士課程満期退学

専門・研究 交通経済学・交通政策

職歴等 1974年 4月 福岡大学商

1977年 4月 福岡大学商学部助教授
1981年 8月 英国リーズ大学で海外研修
1983年 4月 福岡大学商学部教授
1992年 12月 福岡大学商学部長

1993年12月 福岡大学商学部長
1999年12月 福岡大学大学院商学研究科
2003年12月 福岡大学副学長
2007年12月 福岡大学長

日本交通学会理事、日本私立大学連盟理事、
九州国立博物館評議員、大学基準協会評議員など

日本交通学会理事、日本私立大学連盟理事、
九州国立博物館評議員、大学基準協会評議員

Page 1

[View all posts by admin](#) | [View all posts in category](#)



学びのレベルアップを目指して 新学部長を紹介します

9学部が1キャンパスにあるという恵まれた教育環境の中、
それぞれの学部の特色をさらに生かしていくために
私たちは新たなチャレンジを続けていきます。



新しい明日へ

学生のために事務職員の質の向上を目指す。



事務局長
柳 幹男

Mikio Yanagi

事務職員は、さまざまな窓口で学生の皆さんと接しています。その際、常に学生の皆さんと同じ目線を持つて物事を考え、いくことが大切だと考えています。学生の皆さんからの相談に対し、單一的なものの見方や一方的な考え方ではなく、解決できる質の高い事務職員であるように努めています。福岡大学が目指す全人教育は、教育職員だけが担うものではありません。学生の皆さん的人間力がさらに向上する環境をつくるため、大学の使命に基づく真の「教職協働体制」を実現させることが重要です。事務職員は、この教職協働体制の方を担っていくために、教育職員とともに経営・教学機関といった公的会議への正規参画を図る上で、必要な資質を身に付ける必要があり

ます。その具体的な方策として、SD(スタッフ・ディベロップメント)活動のさらなる推進に取り組んでいます。学生の皆さんのが、楽しく有意義な学生生活を送れるように、事務職員も精いっぱい支援していきます。何でも相談してください。

地域で頑張るために世界を知ることは大事。



医療担当副学長
内藤 正俊 (医学部)

Masatoshi Naito

福岡大学の教育研究の理念の一つに「人材教育と人間教育の共存」が掲げられています。これは医学にとって特に大切なものです。病気と向き合うのではなく、患者さん一人ひとりと向き合うことの大切さをこれからもしっかりと伝えていこうと考えています。

昨年1月に福岡大学病院新診療棟が完成し、医療を学ぶ環境は確実に向上了しました。一つの時代も病院は教育のプラットホームです。医学部、薬学部、スポーツ科学部をはじめ全学的な連携を強化することで、治療だけにとどまらず、予防や保健に関してもレベルアップを図っています。

また、アジアを中心に本学との協定校を増やしていく、国際的な医学交流を活性化させたいと考えています。地域医療をさらに推進させるためには、世界のレベル、世界の動

きを知り、あくことが大切なのです。
さらに、学生の皆さんのが、身体面はもちろん、精神面のケアにも健康管理センターやHDセミナーを通じて支援していきます。悩める学生さんが出てこないように、心と体の両面をサポートします。

生年	1951年
出身地	栃木県今市市 (現日光市)
出身大学	東北大学経済学部 経済学科卒業 東北大学大学院 経済学研究科 博士課程満期退学
専門・研究分野	専門はアジア経済論。 インドの経済・産業発展に関する研究。

商学部は創設以来77年間で、第一部を含め約6万人もの卒業生を送り出しています。この間一貫してビジネスと地域のリーダーを育成してきましたが、社会情勢や世界経済が転換期を迎える今、カリキュラムや講義のあり方など、学部での学びを大きく改革していく時期に来ています。その英知を優れた教員がたくさん所属しています。その英知を集めすれば、時代が求める教育改革を必ず実行できると信じています。

平成24年度からは、気持ちも新たに、新築した商学部棟である2号館での授業が始まります。また、「会計専門職プログラム」もスタートします。今後、商学部ならではの新しい学びのスタイルを確立させ、学生の皆さんのが学びのモチベーションをより高めていける環境づくりを行っていきます。



商学部長
石上 悅朗
Etsuro Ishigami

生年	1948年
出身地	茨城県坂東市
出身大学	横浜市立大学 文理学部理科卒業 九州大学大学院 理学研究科博士課程修了
専門・研究分野	専門は生物学。 昆虫の脳神経系について研究。

理学部の学士課程は、各分野の基礎をしっかりと身に付ける4年間です。構成力、企画力、論理性を含めた基礎力を養いながら、自分が本当に学びたいことを学んでいく学部となっています。

理学部の学生が、学部卒業で専門職に就くのは容易ではありません。専門で学ぶ内容が、社会での仕事と直接的には結び付かない基礎科学からです。だからこそ、就職にすぐ役立つことを目指すのではなく、学びたい分野を学びながら、社会で通用する構成力企画力、論理性を身に付けることが大切です。



理学部長
横張 文男
Fumio Yokohari

生年	1949年
出身地	福岡県福岡市
出身大学	九州工業大学 工学部機械工学科卒業 東京大学大学院 工学系研究科 修士課程修了
専門・研究分野	専門は情報アーキテクチャ。 知能ロボットシステムについて研究。

工学部の教育目標は、将来の社会を支える技術者や研究者を育成することで、各分野の基礎知識をしっかりと学ぶとともに、国際社会で活躍できるグローバルな視点を身に付けることです。そのため、学生の皆さんが高い海外の学生や研究者とともに多く、そして多く交換できる教育体制や環境づくりに力を入れてまいります。

社会からの要求が多様化している今、工学部だけでは解決できない問題も少なくありません。9学部1キヤンバスとなり総合大学の強みを生かし、学生相互が実りある環境づくりを行っていくことも課題としています。



工学部長
荒牧 重登
Shigeto Aramaki

生年	1959年
出身地	佐賀県佐賀市
出身大学	九州大学文学部 史学科卒業 九州大学大学院 文学研究科博士課程満期退学
専門・研究分野	専門は日本史。 幕末維新期西南諸藩における藩政改革について研究。

人文学部には、哲學、歴史学、文学、外國語などを学ぶ8学科に、1,300人以上の専任教員が所属しています。この教授陣の充実が、教育内容が多くあります。この特長を強化していくことが二つの目標です。

また、グローバル化がますます進むこれから時代、外國語を話せるることは大切ですが、歴史、宗教、民俗などを学んでいくことも必要で、そこから他国に対する理解が生まれます。そのため多様な学科をフル活用して、幅広く学べる環境をつくっていかないと考えています。

また、多くの新中央図書館が完成しますが、実は図書館の利用率が圧倒的に高いのが人文学部なのです。

学びの意識をさらに高め幅広く学べる環境づくりの一環として、新しい図書館を活用していきたいと思います。

真の教養を身に付けてもらうために、学生の皆さんが常に挑戦したくなるような環境づくりに取り組んでいます。



人文学部長
梶原 良則
Yoshinori Kajiwara

生年	1953年
出身地	福岡県川崎町
出身大学	福岡大学法学部 法律学科卒業 福岡大学大学院 法学研究科博士課程後期満期退学
専門・研究分野	専門は商法・会社法。 取締役の責任について研究。

法学部は、法律学科、経営法学科それぞれが明確な目的を持ち、効率的なコスパ別カリキュラムを実践しています。法が社会にとって必要なものであることはいつの時代も変わりありませんが、法律は時代とともに刻々と変化していきます。また、法にかかる人間には一般法養を含めた時代ごとの広い知識が求められます。両学科とも時代に合った新たなコース設定、さらには新しい学科の設置を検討する必要があると考えています。

法曹人のみならず、公務員志望者が多い法律学科では、法制度の背景にある哲学やマネジメント、経済学、環境学など幅広く学んでもらうことが必要でしょう。また、経営法学科では国際化を推進するため、中国や東アジア圏で活躍できる力を付けてもらうことが必要になります。



法学部長
畠田 公明
Komei Hatada

今後、「これから時代」の法学部について検討を重ね、学生の皆さんが広い領域に興味を持ち、知識を深めていくような教育システムを構築していくことを考えております。

そのため、まずはカリキュラムの整備に取り組みます。それらにも適宜対応していきます。

また、「これから時代」の法学部について検討を重ね、学生の皆さんに広い領域に興味を持ち、知識を深めていくような教育システムを構築していくことを考えております。



経済学部長
西原 宏
Ko Nishihara

生年	1959年
出身地	静岡県沼津市
出身大学	横浜国立大学 経営学部管理科学科卒業 筑波大学大学院 社会工学研究科 修士課程満期退学
専門・研究分野	専門はゲーム理論。 社会的ジレンマの解消に関する研究。

リーマンショック以降の経済不況や欧州での相次ぐ経済破綻などで、経済の重要性を認識している学生さんが増えています。そのような時代だからこそ、経済学部での学びに学生が何を求めているのかをもっと考えていかなければなりません。つまり、企業が顧客満足度は法制度の背景にある哲学やマネジメント、経済学、環境学など幅広く学んでもらうことが必要でしょう。また、経営法学科では国際化を推進するため、中国語による授業などを実施して、中国や東アジア圏で活躍できる力を付けてもらうことが必要になります。

法曹人のみならず、公務員志望者が多い法律学科では、法制度の背景にある哲学やマネジメント、経済学、環境学など幅広く学んでもらうことが必要でしょう。また、経営法学科では国際化を推進するため、中国語による授業などを実施して、中国や東アジア圏で活躍できる力を付けてもらうことが必要になります。

そのため、まずはカリキュラムの整備に取り組みます。そもそも経済学は幅広い領域を受け持ちはずが、学生の皆さんに広い領域に興味を持ち、知識を深めていくような教育システムを構築していくことを考えております。

また、ベンチャーや企業論などの授業では、他学部の学生にも積極的に参加を呼び掛け、経済学部の学生とともにビジネスを形にする経験を積めるような環境づくりを重視するように、大学においても学生の学びに対する満足度を上げていくことが必要になってきているわけですね。

そのため、まずはカリキュラムの整備に取り組みます。そもそも経済学は幅広い領域を受け持ちはずが、学生の皆さんに広い領域に興味を持ち、知識を深めていくような教育システムを構築していくことを考えております。

また、ベンチャーや企業論などの授業では、他学部の学生にも積極的に参加を呼び掛け、経済学部の学生とともにビジネスを形にする経験を積めるような環境づくりを重視するように、大学においても学生の学びに対する満足度を上げていくことが必要になってきているわけですね。



研究推進部長
西嶋 喜代人
工学部(専門)電力工学
Kiyoto Nishijima



図書館長
則松 彰文
人文学部(専門)東洋史
Akihumi Norimatsu



学生部長
小野寺 一浩
法学部(専門)刑法
Kazuhiko Onodera



教務部長
黒瀬 秀樹
理学部(専門)量子群
Hideki Kurose



福岡大学筑紫病院長
岩下 明徳
福岡大学筑紫病院
(専門)病態学
Akinori Iwashita



福岡大学病院長
山下 裕一
医学部(専門)外科学
Yuichi Yamashita



第二部主事
中川 誠士
商学部(専門)マーケティング
Seishi Nakagawa



商学研究科長
川上 義明
商学部(専門)中小企業論
Yoshiaki Kawamori



経済学研究科長
齋藤 參郎
経済学部(専門)遊説・マーケティング
Saburo Saito



法学研究科長
福山 道義
法学部(専門)刑法
Michiyoshi Fukuyama



人文科学研究科長
林 幹男
人文学部(専門)臨床心理学
Mikio Hayashi



薬学研究科長
能田 均
医学部(専門)生体機能分析
Hitoshi Nouta



医学研究科長
白澤 専二
医学部(専門)細胞生物学
Seiji Shirasawa



工学研究科長
中野 勝之
工学部(専門)応用工学
Katsuyuki Nakano



理学研究科長
宮川 賢治
理学部(専門)核磁共振物理学
Kenji Miyakawa



大学院学務委員長
星乃 治彦
人文学部(専門)西洋史
Haruhiko Hoshino



法科大学院長
山下 義昭
法科大学院(専門)行政法
Yoshikazu Yamashita



スポーツ健康科学研究科長
青柳 順
スポーツ科学部(専門)スポーツ統計学
Osamu Aoyagi

【新役職員紹介】

副学長・学部長等以外の新役職員を紹介します。



医学部長
久保 真一
Shinichi Kubo

生年	1958年
出身地	長崎県長崎市
出身大学	長崎大学医学部 医学科卒業 長崎大学大学院 医学研究科 博士課程修了
専門・研究分野	専門は法医学。 窒息死、頭部外傷、薬物中毒についての法医学的研究。

特に今的学生世代は核家族化が進んだこともあって、病気で苦しむ家族と接する機会が減っています。そのような世代に、本当の意味での人の痛み患者さんの立場が分かる医療人に育つてもらいたいのがより大切なことです。そのためにはまず学生同士のコミュニケーションを強化していくなどと考えています。例えば学部内に都道府県人会を作りて学年を越えた「ミーティング」を行ったり、医学部内のサークル活動を活性化させたりといった方法を考えています。

そのためにはまず学生自身が自分たちの立場を強化していくことが大切です。例えば学部内に都道府県人会を作りて学年を越えた「ミーティング」を行ったり、医学部内のサークル活動を活性化させたりといった方法を考えています。

病院で苦しむ家族と接する機会が減っています。そのような世代に、本当の意味での人の痛み患者さんの立場が分かる医療人に育つてもらいたいのです。

そのためにはまず学生自身が自分たちの立場を強化していくことが大切です。例えば学部内に都道府県人会を作りて学年を越えた「ミーティング」を行ったり、医学部内のサークル活動を活性化させたりといった方法を考えています。



薬学部長
添田 泰司
Shinji Soeda

生年	1947年
出身地	山口県下関市
出身大学	福岡大学薬学部 薬学科卒業 福岡大学大学院 薬学研究科博士課程前期修了
専門・研究分野	専門は生化学。 生活習慣病の予防・治療に関する基礎的研究。

「福岡大学ブランドの薬剤師は質が高い」と言われるように、常に患者さんを中心に物事を考えることができます。一方で何を学んでいくかを明確にした学習成果基盤型教育の徹底を行っていかねばなりません。そのためには、医学部との連携をさらに強化し、6年間の各学年において何を学んでいくかを明確にした学習成果基盤型教育の徹底を行っていかねばなりません。そのためには、医学部のチーム医療に強い薬剤師、国際レベルで働ける薬剤師などに成長してもらいたいと思います。そのためには、医学部との連携をさらに強化し、6年間の各学年において何を学んでいくかを明確にした学習成果基盤型教育の徹底を行っていかねばなりません。そのためには、医学部のチーム医療に強い薬剤師、国際レベルで働ける薬剤師などに成長してもらいたいと思います。そのためには、医学部との連携をさらに強化し、6年間の各学年において何を学んでいくかを明確にした学習成果基盤型教育の徹底を行っていかねばなりません。そのためには、医学部のチーム医療に強い薬剤師、国際レベルで働ける薬剤師などに成長してもらいたいと思います。

「福岡大学ブランドの薬剤師は質が高い」と言われるように、常に患者さんを中心に物事を考えることができます。一方で何を学んでいくかを明確にした学習成果基盤型教育の徹底を行っていかねばなりません。そのためには、医学部との連携をさらに強化し、6年間の各学年において何を学んでいくかを明確にした学習成果基盤型教育の徹底を行っていかねばなりません。そのためには、医学部のチーム医療に強い薬剤師、国際レベルで働ける薬剤師などに成長してもらいたいと思います。



スポーツ科学部長
中原 一
Hajime Nakahara

生年	1951年
出身地	宮崎県日南市
出身大学	東京教育大学 体育学部武道科卒業 東京教育大学大学院 体育学研究科修士課程修了
専門・研究分野	専門はスポーツ方法学。 柔道論、コーチ学・方法学に関する研究。

スポーツ科学部は他学部と連れて正課授業における学部教育だけでなく、課外活動の成績という観点で評価されることが多い学部です。確かに課外活動は先輩後輩という上下関係のけじめやリーダーシップを養える場でもあります。ですがスポーツ科学部が目指す「知育、体育、德育」の三育を行っていくのはあくまでも正課授業つまり学部教育なのです。

課外活動で優秀な成績を挙げることは大切ですが、どういった関係のけじめやリーダーシップを養える場であります。ですがスポーツ科学部が目指す「知育、体育、德育」の三育を行っていくのはあくまでも正課授業つまり学部教育なのです。

教育だけではなく、課外活動の成績という観点で評価されることが多い学部です。確かに課外活動は先輩後輩という上下関係のけじめやリーダーシップを養える場でもあります。ですがスポーツ科学部が目指す「知育、体育、德育」の三育を行っていくのはあくまでも正課授業つまり学部教育なのです。

出ためには教職員がその気持ちを持って学生の皆さんと向き合う必要があります。教職員にそれを徹底させるとともに、学部教育と課外活動のバランスを保ちながら、他のアスリートや指導者を育てていきたいと考えています。

文武両道が備わった学生を一人でも多く社会に送り出ためには教職員がその気持ちを持って学生の皆さんと向き合う必要があります。教職員にそれを徹底させるとともに、学部教育と課外活動のバランスを保ちながら、他のアスリートや指導者を育てていきたいと考えています。

「福大魂」を胸に アフリカと日本のかけ橋に



モロッコの地で夢がかなつた

東京・霞が関の外務省。富永純正さんは、アフリカ・コンゴへの赴任を数日後には、「アフリカ・コンゴへの赴任を数日後には、アフリカのスケジュールの中で、本控えた分刻みのスケジュールの中での、本誌のインタビューに時間を作ってくださいました。

「母校、福岡大学のためですから、これくらいのことはさせていただきたい」とおおらかな顔で語り始めます。

「私は体育学部の第1期生として入年海外協力隊で水泳のコーチを探して、お話を出たエリートばかり。負けてたまるかと、「福大魂」に火が付いた」と富永さんは豪快に笑います。

「外交官というスマートなイメージがあるでしょう。私も各国の大臣に会って話をしたり、国賓級のパーティに出席することはあります。でも、私の中にあるのはチャレンジ精神にあふれる九州人のDNAと泥臭く夢に突き進む「福大魂」。それがあつたからこそ、今の私があると思っています」。

入省後の勤務地は、途上国、先進国、日本国内と一定のサイクルで変わっています。富永さんは、「貧しい国の人たちと仕事を続いだ」と考え、青年海外協力隊の留学制度を利用してフランスへ留学します。国際会議でも通用する語学力を身に付けた富永さんは、外交官のサポートをする国際交流サービスの派遣員に応募します。そして、西アフリカのコートジボワール日本大使館で派遣員として勤務している時に外務省から入省の説明を受けました。

「私の原点がモロッコにあること、アフリカにかかる仕事が私のライフワークであることは間違ひありません。アフリカに入りその現場を見ることは大切です。しかし、ずっとアフリカで暮らせていると思方が鈍ってしまうのです。日本から見てアフリカ、国際社会の中でのアフリカということを見ています」。

最後に富永さんから、現役学生に熱いメッセージを頂きました。

「私は学生時代に『学校の先生になる』という夢がありました。青年海外協力隊に入ったことをきっかけに、形こそ違えどアフリカでその夢をかなえることができた。大切なのは夢を持ち続けることです。明確な夢は、新しいことにチャレンジするモチベーションにつながるはずです。世界に飛び出せとは言いません。自分の夢がかなえられるのなら、日本の中だつていいし、九州の中だつていい。スマートじゃなくてもいいじゃないか。泥臭くてもいいじゃないか。あなたたちの心の中に「福大魂」を發揮して、皆さんの夢を追い続けてほしいと思います」。

遠いアフリカの地で日本の代表として奔走する大先輩に負けないよう、夢を持って大学生生活を過ごしましょう。

集が少なく、結局は民間企業の就職試験を受けて内定をもらいました。「体育の先生になる」という夢もこれで終わらか」と思っていた時、水泳連盟から青い海外協力隊で水泳のコーチを探して、お話を出たエリートばかり。負けてたまるかと、「福大魂」に火が付いた」と富永さんは豪快に笑います。

「私は体育学部の第1期生として入年海外協力隊で水泳のコーチを探して、お話を出たエリートばかり。負けてたまるかと、「福大魂」に火が付いた」と富永さんは豪快に笑います。

「外交官といつとスマートなイメージがあるでしょう。私も各国の大臣に会って話をしたり、国賓級のパーティに出席することはあります。でも、私の中にあるのはチャレンジ精神にあふれる九州人のDNAと泥臭く夢に突き進む「福大魂」。それがあつたからこそ、今の私があると思っています」。

入省後の勤務地は、途上国、先進国、日本国内と一定のサイクルで変わっています。富永さんは、「貧しい国の人たちと仕事を続いだ」と考え、青年海外協力隊の留学制度を利用してフランスへ留学します。国際会議でも通用する語学力を身に付けた富永さんは、外交官のサポートをする国際交流サービスの派遣員に応募します。そして、西アフリカのコートジボワール日本大使館で派遣員として勤務している時に外務省から入省の説明を受けました。

「私の原点がモロッコにあること、アフリカにかかる仕事が私のライフワークであることは間違ひません。アフリカに入りその現場を見ることは大切です。しかし、ずっとアフリカで暮らせていると思方が鈍ってしまうのです。日本から見てアフリカ、国際社会の中でのアフリカということを見ています」。

最後に富永さんから、現役学生に熱いメッセージを頂きました。

「私は学生時代に『学校の先生になる』という夢がありました。青年海外協力隊に入ったことをきっかけに、形こそ違えどアフリカでその夢をかなえることができた。大切なのは夢を持ち続けることです。明確な夢は、新しいことにチャレンジするモチベーションにつながるはずです。世界に飛び出せとは言いません。自分の夢がかなえられるのなら、日本の中だつていいし、九州の中だつていい。スマートじゃなくてもいいじゃないか。泥臭くてもいいじゃないか。あなたたちの心の中に「福大魂」を発揮して、皆さんの夢を追い続けてほしいと思います」。

遠いアフリカの地で日本の代表として奔走する大先輩に負けないよう、夢を持って大学生生活を過ごしましょう。



「途上国では国の発展=幸せとは限りません。そこで生活する人々の本当の幸せを考えていきたい」と語る富永さん。



富永さんが特命全権大使として赴任したコンゴ民主共和国と、これまでに滞在した国々(緑色部分)。

ため公用語はフランス語。さらに現地の人たちはアラビア語を使うため、その二つの言語を学ぶことで、水泳のナショナルチームのコーチを務めます。その傍ら日本という國の存在さえ知らない現地の子どもたちに、夏場は水泳、冬場はサッカーをはじめとするさまざまなスポーツを教える日々が続きました。

「本着も買えない貧しい子どもたちがいっぱいいましたが、私も現地で貧しい生活をしていましたから、子どもたちとの距離感がとても近かったです。子どもたちの屈託のない笑顔に開まれて過ごす毎日は本当に楽しかった。私が憧れた学校の先生のイメージそのままでした」。

モロッコでの3年の赴任期間を終えた富永さんは、「貧しい国の人たちと仕事を続いだ」と考え、青年海外協力隊の留学制度を利用してフランスへ留学します。国際会議でも通用する語学力を身に付けた富永さんは、外交官のサポートをする国際交流サービスの派遣員に応募します。そして、西アフリカのコートジボワール日本大使館で派遣員として勤務している時に外務省から入省の説明を受けました。

夢を持ち続けることが何よりも大切

「当時『協力隊上りの面白いヤツがいる』といふ話から外務省に入ることになったのですが、周囲は有名大学を出たエリートばかり。負けてたまるかと、「福大魂」に火が付いた」と富永さんは豪快に笑います。

「外交官といつとスマートなイメージがあるでしょう。私も各国の大臣に会って話をしたり、国賓級のパーティに出席することはあります。でも、私の中にあるのはチャレンジ精神にあふれる九州人のDNAと泥臭く夢に突き進む「福大魂」。それがあつたからこそ、今の私があると思っています」。

「私の原点がモロッコにあること、アフリカにかかる仕事が私のライフワークであることは間違ひません。アフリカに入りその現場を見ることは大切です。しかし、ずっとアフリカで暮らせていると思方が鈍ってしまうのです。日本から見てアフリカ、国際社会の中でのアフリカということを見ています」。

最後に富永さんから、現役学生に熱いメッセージを頂きました。

「私は学生時代に『学校の先生になる』という夢がありました。青年海外協力隊に入ったことをきっかけに、形こそ違えどアフリカでその夢をかなえることができた。大切なのは夢を持ち続けることです。明確な夢は、新しいことにチャレンジするモチベーションにつながるはずです。世界に飛び出せとは言いません。自分の夢がかなえられるのなら、日本の中だつていいし、九州の中だつていい。スマートじゃなくてもいいじゃないか。泥臭くてもいいじゃないか。あなたたちの心の中に「福大魂」を発揮して、皆さんの夢を追い続けてほしいと思います」。

遠いアフリカの地で日本の代表として奔走する大先輩に負けないよう、夢を持って大学生生活を過ごしましょう。



大統領選挙のための国家選挙委員会で100万ドルの支援を発表する富永大使。



首相府官房長を天皇陛下誕生日セレブレーションパーティーで出迎える富永大使と大使夫人。



コンゴ民主共和国の公用語であるフランス語でスピーチする富永大使。

特命全権大使
在コンゴ民主共和国日本国大使館

富永 純正 さん

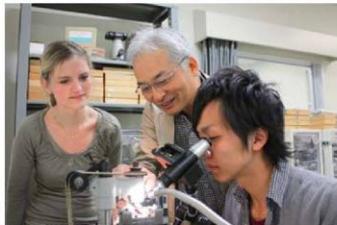
福岡大学体育学部(現:スポーツ科学部)1973年卒業



遠藤先生の自宅で開かれる恒例のバーベキューパーティー。



色調まで洗練された研究室



ドイツ人研究者も
加わっての共同
研究では英語が
公用語。



学生たちの研究に注目するアイフラー先生

遠藤先生の研究室には、鮮やかなカラーリングの椅子と、枕なりで並べаются木製の机が配置され、机の上には、筆記用具や文房具が整然と並んでいます。机の脇には、学生たちが机に向かって座る姿が見えていました。

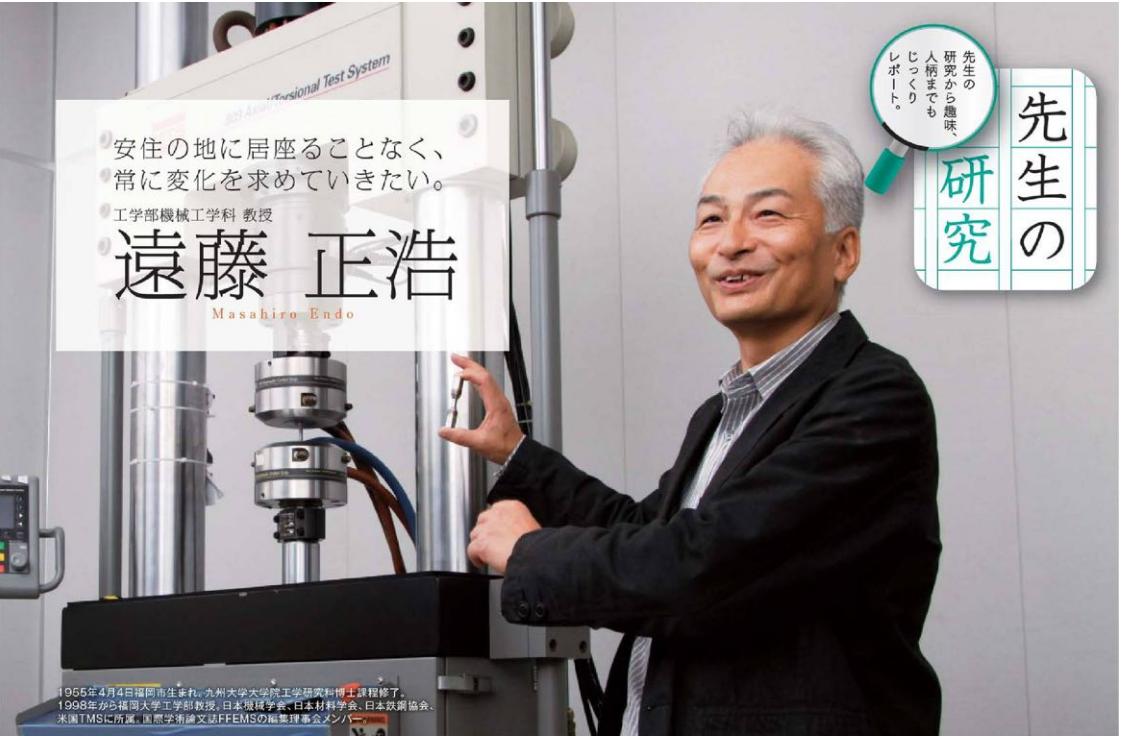
「楽しいやる」とは
「いい加減にやらない」とこと

達藤先生の研究室には、鮮やかなカラーリングで「楽しくやる」と「いい加減にやらない」という二つの世界に向けて発信できるものにしていきたいと考えています。金属疲労に関する応用研究にしても、他分野とのコラボレーションによる研究所の立ち上げにしても、達藤先生は常に新たなチャレンジを続けています。「まだ誰もやっていないことにチャレンジするのはきついことですが、自分で常に上を目指していくな」とダメなんだよ。私はチャレンジし続めていくんだね。住安の地に居座ることなく、これからもどんどん変化を求めていきますよ。ただ、年齢のこともあるので健康を第二に考えながらですけど」。

COLUMN
進
しん

常に前傾姿勢で
いること

最近ウォーキングに凝っていて、大学の周辺をよく歩いています。歩きながら頭の整理ができるし、ひらめきもあります。やはり、人間は前を向いて進んでいくことが一番大事なようです。もともと過去のことはあまり覚えてないし、後悔しない性格ですが、これからも常に前傾姿勢でいたいです。(遠藤 正浩)



研究

先生の
研究から趣味
人柄までも
じっくり

金属疲労の研究 —モノの寿命を予測す

性、機能性、耐久性、価格、それらのバランスが最適となるよう、こなして、使用する金属の強度や

金属の寿命予測の基礎研究から 新たな応用研究への挑戦

寿命の予測が大事な要素になるわけです。遠藤先生は、現在の研究は「あくまでも基礎研究」であり、将来的にはもっと実用的なシステムを作りたいと語っています。「部品によっては金属の寿命が近づくと、事故が起る前にその情報を教えてくれる。そんなシステムをつくるのが目標です」と、遠藤先生は語ります。

事故を減らすことができるはず。まあ、口で言ふほど簡単なことではないのですが、基礎研究の継続とともに、そのような応用研究に研究室をシフトさせていきたいと思っています」。

自分がチャレンジを続けないと
学生に「チャレンジしろ」とは
言えない

学生のグローバル意識の向上に熱心な遠藤先生ですが「普段はすごく厳しいというか、学生から怖がられているかもしれません」と言います。

「卒業した学生たちが大学で学んだ価値を認識するのにはたぶん、6年後。だから卒業の日にあれこれスピーチするよりも、ギター片手に歌ったり、ハーモニカを吹いたりして楽しく送り出す方がいい」とでしょう。

厳しさと豪快さ、グローバルな視点を併せ持つ太藤先生の下を果立つ学生の皆さんのが世界をスマートに、きっとこれから時代を創っていくこそやること」高い加減にやらないことだと思つていませんから」

普段はすこつと厳しい先生であり続けますが、年に2回だけ学生に意外な一面を披露するそうです。一回は学生を自宅に招いて行うバケキュー・バー。一回は卒業式の後に旅立つ学生のために行う器楽の演奏。

時は流れて

国内有数の規模を誇る

福岡大学の学園祭「七隈祭」。

広大なキャンパスを埋め尽くす模擬店は、

七隈祭の名物だ。

靴磨きはタロット占いになり、

15円の水あめは

100円の焼き鳥になった。

模擬店での出し物に

時の流れはあるものの、

地域の方々も

かつて学生だったOB・OGも

模擬店を楽しみに訪れる。

サークルごとに工夫を凝らし、

店主気分を味わう楽しさは

これからもきっと

変わることはないだろう。

2011

入場ゲートも模擬店の内容も、そして学生の服装も随分とカラフルになった。



七隈祭期間中に開催のホームカミングデーで来学された選舉管理委員会OB・OGの皆さん(1972年卒業生)、現役の選舉管理委員会が出した模擬店を訪れ、世代を超えてメンバーが記念撮影。卒業後40年近くの歳月を経ても、かつての仲間が集う「場所」がある。それも七隈祭の魅力の一つ。



1967

通用門に造られたシンプルなゲート。
七隈祭はこの頃から地域にじっとても
欠かすことができない「秋祭り」だった。
この時、手をつながれた子どもたちは、
ちょうど今の学生の親と同じ世代。



平成25年3月卒業
予定者対象
「学内個別企業セミナー」
「学内合同企業セミナー」
の案内です。

下記のとおり学内において、個別企業セミナーならびに合同企業セミナーを開催します。

いずれの企業も本学学生の採用に積極的であり、学内で多くの企業の企業情報や採用情報を入手できる絶好の機会です。積極的に参加して今後の就職活動に役立ててください。

参加企業や開催日、会場、申し込み方法などの詳細については、就職・進路支援センターのウェブサイトに掲載しています。

【個別企業セミナー】

①

開催日: 1月27日(金)
～2月29日(水)

参加企業数: 1日8社(予定)

会場: 学内教室

*土曜、日曜、祝日および2月6日(月)～10日(金)は除く

②

開催日: 3月1日(木)
～随時

参加企業数: 1日5社(予定)

会場: 学内教室

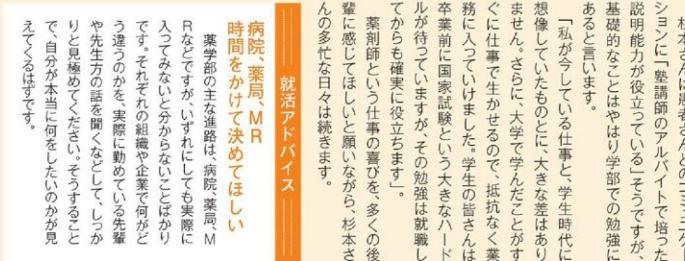
*土曜、日曜、祝日は除く

【合同企業セミナー】

開催日: 3月21日(水)
参加企業数: 130社(予定)
会場: 第二記念会堂

支援行事

就職・進路に関する支援行事の日程など詳細については、FUIポータルや学内掲示、就職・進路支援センターのウェブサイトで確認してください。



杉本さんは患者さんのコミュニケーションに「薬説明」や「アドバイス」で培った経験を活かして、薬局MRとして就職活動を進めてきました。最初は「就職アドバイス」として、その後「時間はかかるけど、決めてほしい」として活動を進めた経験を述べています。

「高齢の患者さんが多いので、薬のことを正しく理解しているのか、きちんと決められた服用を守っているのが、副作用は出でないのかなど、気を使うことがあります。でも、気を使う分だけ、患者さんが元気になつて『紹介してもうつた薬が効いた』と喜んでくださつた時は何よりもうれしいです。」

杉本さんは薬学科がまだ4年制だった時の最後の卒業生。「現在の6年制とは違つて、参考になる部分が少ないかもしれません」と前書きしながら語ってくれました。

「就職活動で実際に動き始めたのは病院実習を終えた4年次の春から、当時は薬剤師不足という状況があり、就職活動の情報は豊富ではありませんでした。入社試験を受けたのは10社ほど。OTC（薬局）で購入できる市販の薬専門のドラッグストアがいいのか、患者さんの相談に乗れる調剤薬局がいいのか悩んでいました。ちょうどその時期に出

自分が何に喜びを感じるのかを考えることが仕事を選ぶこと。

ひと言に喜びを感じる

患者さん

自分の夢を決して諦めない。
その気持ちを持ち続けることが大事。

就活日記 My チャレンジ

先輩たちの経験を参考に、未来の自分を見つけよう。

SUCCESS 1

多忙の中でも患者さんの喜びを感じる

杉本有衣さんが勤務しているのは、北九州市立門司病院に隣接する門司調剤センター。門司病院は総合病院のため、患者数も多く、杉本さんは薬剤師は日々大忙し。

「高齢の患者さんが多いので、薬のことを正しく理解しているのか、きちんと決められた服用を守っているのが、副作用は出でないのかなど、気を使うことがあります。でも、気を使う分だけ、患者さんが元気になつて『紹介してもうつた薬が効いた』と喜んでくださつた時は何よりもうれしいです。」

た時の最後の卒業生。「現在の6年制とは違つて、参考になる部分が少ないかもしれません」と前書きしながら語ってくれました。

「就職活動で実際に動き始めたのは



病院実習を終えた4年次の春から、当時は薬剤師不足という状況があり、就職活動の情報は豊富ではありませんでした。入社試験を受けたのは10社ほど。OTC（薬局）で購入できる市販の薬専門のドラッグストアがいいのか、患者さんの相談に乗れる調剤薬局がいいのか悩んでいました。ちょうどその時期に出

会つたのが、今のはサンキュードラッグ。OTCも調剤も両方あって、地域に密着している点も決め手でした。

「就職活動は多くの選択肢からどこに喜びを感じられるかを見つけることで、喜びを感じられるかを見つけることで、どちらを考えて上でのメリットは大きくなつたと言います。

「4年制の時と違って、病院と薬局の両方で実習を受けることができるのですが、どちらがいいことだと思います。医師や看護師チームを組んで働きたいなら病院患者さんと密に接していくといなら薬局など、実習を通して自分がしたいことを見つけられますからね。」

子どもの頃からの夢を追い続けた就職活動

熊本朝日放送アナウンサーとして、ニュース番組のコーナーの企画・取材・原稿書き・出演、そして天気予報などを担当している高崎恵理さん。

「小学校で放送委員をしていた時に、先生から『良い声をしているからアナウンサーにならうたら』と言われたのがきっかけで、それからずっとアナウンサーになることだけを考えていました。」

福岡大学の英語学科に進学したのも、多くの人を取材対象にするアナウンサーの仕事には必ず役に立つという考えが

あつたからだとあります。

「就職試験には幅広い知識を得ることが必要だと考え、毎日大学の図書館で新間に目を通していました。図書館なら全紙がそろっているので、同じ二三ヶ条で見比べていました。

「就職試験で得ることのできるスキルを各紙がどのように報道しているのか違いを見比べていました。」

「就職活動では、全国の放送局約50社のエントリー・シートでアナウンスの勉強をする傍ら、エクステンションセンターを利用してTOEIC対策講座を受講し、自分磨きを続けた高崎さん。就職活動では、全國の放送局約50社から内定をもらっています。」

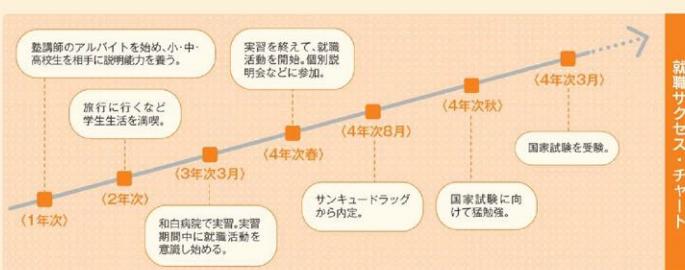
「アナウンサーという夢を断たれたたま

社会に出で実践を学ぶこと間的な幅が出る

高崎さんは、同時に受験していた旅行会社から内定をもらいました。就職浪人を考えたが、ゼミの先生から「一度社会で実現させて生き生きと働いているところも、一度自分の夢を追い詰めて就職を決意。「九州で忙しい」という言葉を聞いて、旅行会社を退社。

「一度でしかなかったりがいはありませんでした。でも、旅行会社に入りたいという想いを実現させて生き生きと働いている旅行会社で、一度、高崎さんの子どもの頃から夢は断たれてしまっています。」

「一度でしかなかったりがいはありませんでした。でも、旅行会社に入りたいという想いを実現させて生き生きと働いている旅行会社で、一度、高崎さんの子どもの頃から夢は断たれてしまっています。」



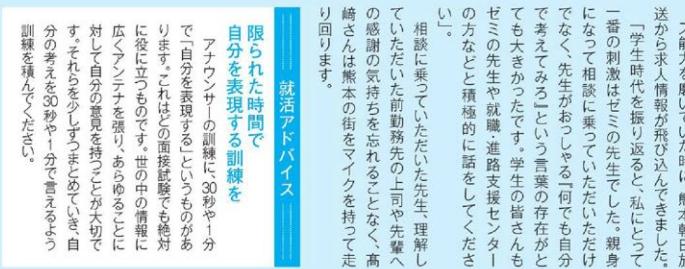
杉本さんは患者さんのコミュニケーションに「薬説明」や「アドバイス」で培った経験を活かして、薬局MRとして就職活動を進めてきました。最初は「就職アドバイス」として、その後「時間はかかるけど、決めてほしい」として活動を進めた経験を述べています。

「就職活動で実際に動き始めたのは病院実習を終えた4年次の春から、当時は薬剤師不足という状況がありました。就職活動の情報は豊富ではありませんでした。入社試験を受けたのは10社ほど。OTC（薬局）で購入できる市販の薬専門のドラッグストアがいいのか、患者さんの相談に乗れる調剤薬局がいいのか悩んでいました。ちょうどその時期に出

会つたのが、今のはサンキュードラッグ。OTCも調剤も両方あって、地域に密着している点も決め手でした。

「就職活動で実際に動き始めたのは

病院実習を終えた4年次の春から、当時は薬剤師不足という状況がありました。就職活動の情報は豊富ではありませんでした。入社試験を受けたのは10社ほど。OTC（薬局）で購入できる市販の薬専門のドラッグストアがいいのか、患者さんの相談に乗れる調剤薬局がいいのか悩んでいました。ちょうどその時期に出



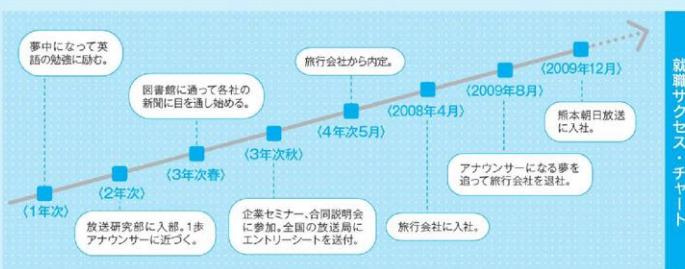
杉本さんは「就職アドバイス」として、その後「時間はかかるけど、決めてほしい」として活動を進めた経験を述べています。

「就職活動で実際に動き始めたのは病院実習を終えた4年次の春から、当時は薬剤師不足という状況がありました。就職活動の情報は豊富ではありませんでした。入社試験を受けたのは10社ほど。OTC（薬局）で購入できる市販の薬専門のドラッグストアがいいのか、患者さんの相談に乗れる調剤薬局がいいのか悩んでいました。ちょうどその時期に出

会つたのが、今のはサンキュードラッグ。OTCも調剤も両方あって、地域に密着している点も決め手でした。

「就職活動で実際に動き始めたのは

病院実習を終えた4年次の春から、当時は薬剤師不足という状況がありました。就職活動の情報は豊富ではありませんでした。入社試験を受けたのは10社ほど。OTC（薬局）で購入できる市販の薬専門のドラッグストアがいいのか、患者さんの相談に乗れる調剤薬局がいいのか悩んでいました。ちょうどその時期に出



杉本さんは「就職アドバイス」として、その後「時間はかかるけど、決めてほしい」として活動を進めた経験を述べています。

「就職活動で実際に動き始めたのは病院実習を終えた4年次の春から、当時は薬剤師不足という状況がありました。就職活動の情報は豊富ではありませんでした。入社試験を受けたのは10社ほど。OTC（薬局）で購入できる市販の薬専門のドラッグストアがいいのか、患者さんの相談に乗れる調剤薬局がいいのか悩んでいました。ちょうどその時期に出

会つたのが、今のはサンキュードラッグ。OTCも調剤も両方あって、地域に密着している点も決め手でした。

「就職活動で実際に動き始めたのは

病院実習を終えた4年次の春から、当時は薬剤師不足という状況がありました。就職活動の情報は豊富ではありませんでした。入社試験を受けたのは10社ほど。OTC（薬局）で購入できる市販の薬専門のドラッグストアがいいのか、患者さんの相談に乗れる調剤薬局がいいのか悩んでいました。ちょうどその時期に出

参加者の声



高田橋 翼さん
(スポーツ科学部健康運動
学科2年次生)

今後いつ起こるか分からない災害に対する心構えができる

この講義を受講しようと思ったきっかけは、やはり3月の東日本大震災です。実際にいろいろな災害現場を体験された先生方の話は、臨場感があります。今後いつ起こるか分からない災害に対しても心構えができる、安心感が得られる講義だと思います。

FUポータルを使って出されるミニテストは、講義で配布されるプリントや資料を読み返せば解答できる問題です。講義後に資料を読み返すきっかけになりますし、自然と頭に入ります。

また、外部からの講師の先生は、災害や防災に関する話だけでなく、それぞの仕事を通して、幅広く専門的な話もしてくださるので、とても役に立つます。



新聞記者が講師の講義では、正確な情報の伝え方(文章の書き方)の解説もありました。



天気予報の見方についての解説を真剣に聴く。



「現代を生きる(災害から自分や家族を守る)」 平成23年度講義内容

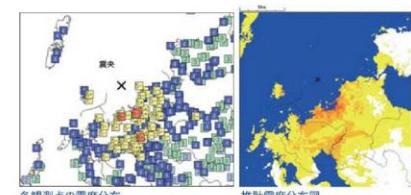
第1回	【災害から自分を守る】避震の大震災・風水害からの教訓	高山 峰夫(福岡大学工学部教授)
第2回	【防災知識の必要性】防災意識・自助・共助・公助	重松 幹二(福岡大学工学部教授)
第3回	【災害から自分を守る】ライフラインの被害想定と断続時対応	佐藤 研一(福岡大学工学部教授)
第4回	【災害から自分を守る】個人の平常時の準備と災害時対応	木原 秀樹(福岡市消防局)
第5回	【災害の状況を知る】災害に対する報道機関の取り組み	高橋 淳夫(読売新聞西部本社)
第6回	【災害と社会システム】被災社会の多様性	高橋 淳夫(読売新聞西部本社)
第7回	【地域を守る】地域の防災活動、自主防災組織、消防団活動	木原 秀樹(福岡市消防局)
第8回	【災害の状況を知る】気象予報・警報・注意報	松井 渉(日本気象協会)
第9回	【地域を守る】防災指揮機関の対応	小畠 和彦(福岡市防災危機管理課)
第10回	【災害の状況を知る】最近の自然災害(福岡県西方沖地震・御笠川)	松井 渉(日本気象協会)
第11回	【災害と社会システム】都市災害、都市防災計画・技術・災害と交通	辰巳 浩(福岡大学工学部教授)
第12回	【いのちを守る】災害医療、アリージュ、高齢者・乳幼児対応	矢守 克也(京都大学防災研究所教授)
第13回	【いのちを守る】災害医療、アリージュ、高齢者・乳幼児対応	黒岩 中(元福岡大学医学部教授)
第14回	【災害と社会システム】災害と損害保険・共済	伊藤 豪(福岡大学商学部講師)
第15回	【災害活動の必要性】福岡大学の防災活動・危機管理・地域協力	重松 幹二(福岡大学工学部教授)

した小テストを行っています。講義で学んだ内容の中から重要な項目を選択形式のテストとして出題し、一週間以内に解答してもらう形式を取っています。講義の復習となるだけでなく、防災意識の向上にうながす工夫がなされているのです。

「先ほどお話ししたように、これまでも本州エリアと福岡エリアでは、子どもの頃からの防災意識の育成に大きな差があります。東日本大震災をきっかけに、東日本の小・中学校ではますます防災の授業を必要得ようとするでしょう。福岡で少しでも防災意識のレベルを上げるために、この講義のように、生の声を聞き、もっと防災に

関心を持つてもらうことが何よりも大切です。いずれ英語や体育と同じように必修の講義にするべきかも知れません。重松教授は、さらにはこの講義の効果を次のように語ります。

「この講義で学んだことは、卒業後もきっと活用できるはずです。災害で財産をなくすことはあっても、学んだことをなくすことです。災害時は地域の中でのコミュニケーションが何よりも大切です。この講義によって高い防災意識を持った学生の皆さん方が、そのコミュニケーションの中心となってくれることを願っています。この『現代を生きる(災害から自分や家族を守る)』は、災害防災に関する一生懸命に立つ社会学だと言えるでしょう。」



講義で使われる資料の一部。東日本大震災はもちろんのこと、開講するきっかけとなった福岡県西方沖地震について学びます。
資料提供:気象庁報道発表資料「2005年3月20日10時53分頃の福岡県西方沖の地震について」より。

毎月25日ごろ

毎年9月25日ごろ
毎年2月ごろ



共通教育科目 総合系列科目

現代を生きる (災害から自分や家族を守る)

災害の現場を知る幅広い分野からの
講師を招き、「生の声」を聞く

社会に出てからも必ず役立つ
災害への注意意識を高めるプログラム。

大切なのは知識よりも まずは意識を高めること

2011年4月から福岡大学は「防災

士養成研修プログラム」をスタートさせま

した。これは地域で活躍する防災リーダー

の育成を目的としたプログラムです。「基

礎防災学」「建築防災」、一般市民向けの

「防災演習」などから成るプログラムの核と

なるのが、今回ご紹介する「現代を生きる

災害から自分や家族を守る」

です。

「私が本学に来たのが2006年。福岡

県西方沖地震の翌年です。あれだけの地

震から1年しなが

りました。さらに福岡市が行なった防災士

養成講座に出てみると、受講者の多くが60

代以上の高齢者でした。もと若い世代こ

そ防災に対する意識を持つべきだと思

い、この講義の開講を呼び掛けました」

福岡市について、多くの人が「災害の少

ない都市」というイメージを持っています

が、先の西方沖地震のほか、1999年と2

003年の御笠川の氾濫、2009年の集

中豪雨などで被害が相次ぎました。また、

斯く工学科の重松幹二教授です。

「私が本学に来たのが2006年。福岡

県西方沖地震の翌年です。あれだけの地

震ではある時の記憶がすでに風化しつつ

ありました。さらに福岡市が行なった防災士

養成講座に出てみると、受講者の多くが60

代以上の高齢者でした。もと若い世代こ

そ防災に対する意識を持つべきだと思

い、この講義の開講を呼び掛けました」

福岡市について、多くの人が「災害の少

ない都市」というイメージを持っています

が、先の西方沖地震のほか、1999年と2

003年の御笠川の氾濫、2009年の集

中豪雨などで被害が相次ぎました。また、

斯く工学科の重松幹二教授です。

「私が本学に来たのが2006年。福岡

県西方沖地震の翌年です。あれだけの地

震ではある時の記憶がすでに風化しつつ

ありました。さらに福岡市が行なった防災士

養成講座に出てみると、受講者の多くが60

代以上の高齢者でした。もと若い世代こ

そ防災に対する意識を持つべきだと思

い、この講義の開講を呼び掛けました」

福岡市について、多くの人が「災害の少

ない都市」というイメージを持っています

が、先の西方沖地震のほか、1999年と2

003年の御笠川の氾濫、2009年の集

中豪雨などで被害が相次ぎました。また、

斯く工学科の重松幹二教授です。

「私が本学に来たのが2006年。福岡

県西方沖地震の翌年です。あれだけの地

震ではある時の記憶がすでに風化しつつ

ありました。さらに福岡市が行なった防災士

養成講座に出てみると、受講者の多くが60

代以上の高齢者でした。もと若い世代こ

そ防災に対する意識を持つべきだと思

い、この講義の開講を呼び掛けました」

福岡市について、多くの人が「災害の少

ない都市」というイメージを持っています

が、先の西方沖地震のほか、1999年と2

003年の御笠川の氾濫、2009年の集

中豪雨などで被害が相次ぎました。また、

斯く工学科の重松幹二教授です。

「私が本学に来たのが2006年。福岡

県西方沖地震の翌年です。あれだけの地

震ではある時の記憶がすでに風化しつつ

ありました。さらに福岡市が行なった防災士

養成講座に出てみると、受講者の多くが60

代以上の高齢者でした。もと若い世代こ

そ防災に対する意識を持つべきだと思

い、この講義の開講を呼び掛けました」

福岡市について、多くの人が「災害の少

ない都市」というイメージを持っています

が、先の西方沖地震のほか、1999年と2

003年の御笠川の氾濫、2009年の集

中豪雨などで被害が相次ぎました。また、

斯く工学科の重松幹二教授です。

「私が本学に来たのが2006年。福岡

県西方沖地震の翌年です。あれだけの地

震ではある時の記憶がすでに風化しつつ

ありました。さらに福岡市が行なった防災士

養成講座に出てみると、受講者の多くが60

代以上の高齢者でした。もと若い世代こ

そ防災に対する意識を持つべきだと思

い、この講義の開講を呼び掛けました」

福岡市について、多くの人が「災害の少

ない都市」というイメージを持っています

が、先の西方沖地震のほか、1999年と2

003年の御笠川の氾濫、2009年の集

中豪雨などで被害が相次ぎました。また、

斯く工学科の重松幹二教授です。

「私が本学に来たのが2006年。福岡

県西方沖地震の翌年です。あれだけの地

震ではある時の記憶がすでに風化しつつ

ありました。さらに福岡市が行なった防災士

養成講座に出てみると、受講者の多くが60

代以上の高齢者でした。もと若い世代こ

そ防災に対する意識を持つべきだと思

い、この講義の開講を呼び掛けました」

福岡市について、多くの人が「災害の少

ない都市」というイメージを持っています

が、先の西方沖地震のほか、1999年と2

003年の御笠川の氾濫、2009年の集

中豪雨などで被害が相次ぎました。また、

斯く工学科の重松幹二教授です。

「私が本学に来たのが2006年。福岡

県西方沖地震の翌年です。あれだけの地

震ではある時の記憶がすでに風化しつつ

ありました。さらに福岡市が行なった防災士

養成講座に出てみると、受講者の多くが60

代以上の高齢者でした。もと若い世代こ

そ防災に対する意識を持つべきだと思

い、この講義の開講を呼び掛けました」

福岡市について、多くの人が「災害の少

ない都市」というイメージを持っています

が、先の西方沖地震のほか、1999年と2

003年の御笠川の氾濫、2009年の集

中豪雨などで被害が相次ぎました。また、

斯く工学科の重松幹二教授です。

「私が本学に来たのが2006年。福岡

県西方沖地震の翌年です。あれだけの地

震ではある時の記憶がすでに風化しつつ

ありました。さらに福岡市が行なった防災士

養成講座に出てみると、受講者の多くが60

代以上の高齢者でした。もと若い世代こ

そ防災に対する意識を持つべきだと思

い、この講義の開講を呼び掛けました」

福岡市について、多くの人が「災害の少

ない都市」というイメージを持っています

が、先の西方沖地震のほか、1999年と2

003年の御笠川の氾濫、2009年の集

中豪雨などで被害が相次ぎました。また、

斯く工学科の重松幹二教授です。

「私が本学に来たのが2006年。福岡

県西方沖地震の翌年です。あれだけの地

震ではある時の記憶がすでに風化しつつ

ありました。さらに福岡市が行なった防災士

養成講座に出てみると、受講者の多くが60

代以上の高齢者でした。もと若い世代こ

そ防災に対する意識を持つべきだと思

い、この講義の開講を呼び掛けました」

福岡市について、多くの人が「災害の少

ない都市」というイメージを持っています

が、先の西方沖地震のほか、1999年と2

003年の御笠川の氾濫、2009年の集

中豪雨などで被害が相次ぎました。また、

斯く工学科の重松幹二教授です。

「私が本学に来たのが2006年。福岡

県西方沖地震の翌年です。あれだけの地

震ではある時の記憶がすでに風化しつつ

ありました。さらに福岡市が行なった防災士

養成講座に出てみると、受講者の多くが60

代以上の高齢者でした。もと若い世代こ

そ防災に対する意識を持つべきだと思

い、この講義の開講を呼び掛けました」

福岡市について、多くの人が「災害の少

ない都市」というイメージを持っています

が、先の西方沖地震のほか、1999年と2

003年の御笠川の氾濫、2009年の集

中豪雨などで被害が相次ぎました。また、

斯く工学科の重松幹二教授です。

「私が本学に来たのが2006年。福岡

県西方沖地震の翌年です。あれだけの地

震ではある時の記憶がすでに風化しつつ

ありました。さらに福岡市が行なった防災士

養成講座に出てみると、受講者の多くが60



スポーツ科学部
桧垣 靖樹 教授

生活習慣病予防・介護学府・認知症予防のための運動・身体活動に関する実験研究および分子疫学研究を進めている。専門は運動生理学。

運動を考える[後編]

普段の健康について考えていく「カラダのカガク」。

前号に引き続き、スポーツ科学部の桧垣教授による「運動」についてのお話を届けします。

今回は、誰もが気になる「脂肪燃焼」がテーマです。

vol.4 カラダのカガク

健康を科学的に考える。

2 部分やせは不可能

1 20分以上運動を続けると脂肪は燃焼しない

これは多くの人が聞いたことがある話だと思います。実際には、20分以上の運動を定期的に行なうことはとても大変ですし、実は少しの運動でも脂肪は燃焼します。無理に長い時間運動をしようとする長続きせん。

ですから、普段からこまめに動くことを心掛けてましょう。

また、効率的に脂肪を消費させるコツは、同じ運動を2回に分けて行うことです。運動すると身体がボカボカしてきますが、同じ運動を2回に分けて行なうことで、脂肪の消費も長続きするわけです。

足だけを細くしたい、「部分やせ」を望む人は少なくないと思いますが、「部分やせ」の有効的な方法は残念ながらありません。

細くしたいと思う部分ばかりに自分の意識が集中しているので、「部分やせ」ができる

正しく脂肪を燃焼させよう —「脂肪を減らす常識」のワソ—

前回、太りにくい体质づくりについてお話ししましたが、今回は脂肪の燃焼に関する話をします。皆さんがよく聞く脂肪の燃焼に関する常識には、実はいろいろな「ウソ」があります。

2 20分以上運動を続けると脂肪は燃焼しない

これは多くの人が聞いたことがある話だと思います。実際には、20分以上の運動を定期的に行なうことはとても大変ですし、実は少しの運動でも脂肪は燃焼します。無理に長い時間運動をしようとする長続きせん。

ですから、普段からこまめに動くことを心掛けてましょう。

また、効率的に脂肪を消費させるコツは、同じ運動を2回に分けて行うことです。運動すると身体がボカボカしてきますが、同じ運動を2回に分けて行なうことで、脂肪の消費も長続きするわけです。

足だけを細くしたい、「部分やせ」を望む人は少なくないと思いますが、「部分やせ」の有効的な方法は残念ながらありません。

細くしたいと思う部分ばかりに自分の意識が集中しているので、「部分やせ」ができる

冬場になると太るのはなぜ?

ワンポイントアクション

冬場になると太るといふ話をよく聞きます。ついで、冬場はだらだらして運動不足になりがちで、それは基礎代謝を上げ、脂肪の燃焼能力をアップさせることができます。一般的に常識のように言われていることがすべて正しいとは限りません。正しい知識を身につけて、余計な脂肪は身につけないようにしていきましょう。

冬場になると太るといふ話をよく聞きます。ついで、冬場はだらだらして運動不足になりがちで、それは基礎代謝を上げ、脂肪の燃焼能力を

アップさせることができます。一般的に常識のように言われていることがすべて正しいとは限りません。正しい知識を身につけて、余計な脂肪は身につけないようにしていきましょう。

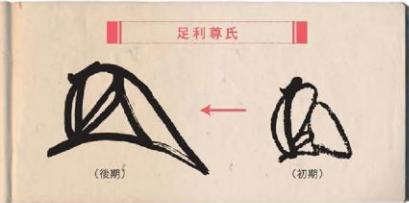
知ってますか? 「花押」

古文書などに見られる印鑑代わりの記号。

それが「花押(かおひ)」です。

「花押」の歴史や魅力について

人文学部の森茂曉先生にお聞きします。



時代や立場による形の変化

花押は、その個人であることを証明する署名のやり方となる名前を草書体で書いていたもの(これを「革名体」と呼びます)が筆順や形状が大きく変化して符号化したもので、現代の印鑑のような役割を持っていました。花押という名称は、毛筆で書かれた形が花押様に似ているところから来ています。

もともとは中国の唐の時代に生まれ、日本では10世紀前半頃から使われるようになりました。

武士は、元服すると大人として認められ、自分の花押を持つようになります。歴史上の有名な人はもちろんのこと、時代が下るごとに庶民の間にも広まっていきましたが、庶民の花押は丸や四角などといっただけのとても簡単なものが多くなったようです。

花押には草名体や実名の中の一文字を冠といった部首を組み合わせて記号化したものや、同じく実名の偏や旁と組み入れて圓熟化したものですが、同じ骨格でありながら将軍とのつれ形状に力強さが増し、草々とした花押に変化していきました。

他方で、織田信長は生涯のうちに花押の形そのものを何度も変えた人物として名前とは関係のない「篆」の文字を圓熟化したものを使っています。これは天下統一を目指した信長が平和な世の中だけに出現するといふ意味の「生まれ」(翻譯)から取ったといわれています。

今はこの多くの研究者が花押そのものの研究を進めていますが、もともとは古文書研究における「花押が何を圓形化したものなのか、そのへ物の生産とともに花押の奥深さに魅せられた者によって研究が進んだ」というわけです。

現在は、それぞれの花押が何を圓形化したもののなかが重要な判別材料として花押の特徴を特定するための判断材料として花押の研究が必要だったといわれています。

花押が日本的生活の中に定着する

と花押の歴史はほぼ終焉を迎えて

いるのです。

明治になって、实业のない革名書は裁判上

の證拠にならないといつて官書が充てられ、印鑑が日本的生活の中に定着する

と花押が否かが重要な判別基準となっていました。

今でもこの研究者が花押そのもの

の研究を進めていますが、もともとは古文

書研究における「花押が何を圓形化

したもののなかが重要な判別材料として花押の

特徴を特定するための判断材料として花押の

研究が必要だったといわれています。

現在は、それぞれの花押が何を圓形化

したもののなかが重要な判別材料として花押の

特徴を特定するための判断材料として花押の

研究が必要だったといわれています。

花押が何を圓形化したのかな

ど、花押の奥深さに魅せられた者によつて

研究が進んでいます。

現在は、それぞれの花押が何を圓形化

したもののなかが重要な判別材料として花押の

特徴を特定するための判断材料として花押の

研究が必要だったといわれています。

花押が何を圓形化

したもののなかが重要な判別材料として花押の



1956年宮崎市生まれ。宮崎医科大学医学部医学科卒業。医学博士(九州大学)。専門・研究分野は脳神経外科学。

—大学型脳卒中センター構築に向けて—

「脳卒中医療の明日へ」

医学部脳神経外科学 教授 井上 亨
(福岡大学病院 副病院長) TORU INOUE

「手術の後はハビリ科に任せることで、うのではなくハビリ科と協力して患者さんのハビリ終了まできちんとお話をすると、それが本当の脳外科医なのです。」

「手術後であっても、すこしの復復しが可能性能を随分と保つ」という動作を「フォローする」という動作が「ドライブする」。それがやがて「松葉杖で歩かれて良かつたね」になり、今は「前とほとんど変わらない」と言えるのです。

うな時代においては、病気の助がつかりやすくなるとともに、治療法も進歩してきました。しかし、その一方で、医療費の高騰や医療機関の過度な競争による医療品質の低下などの問題が浮上するようになりました。また、医療技術の進歩によって、これまで治療困難だった疾患が治せるようになってきた一方で、新たな疾患や複雑な疾患が現れるなどして、医療の課題は複雑化・多様化の一途を辿っています。



字ならではの場
所です。また、高
齢者さんの意思
を尊重する、そ
れが大学病院
全般にハーディ
ングを実現するこ
とができます。

「手術後であっても、すぐに肘や膝を
曲げることが必要です。そうしないと、
関節が固まってしまうので、動かなくな
ってしまう。それを助けるのがロボットスー
チです。ロボットスチの導入については、病
院やりんごリテーション部の理解、そして
自ら進んで活用しようとする若い医
師たちの協力に心から感謝しています。
新しいことに挑戦しようとする、決
意の表明ですね」「ロボットスチがない、
ない」と言う人が出でてくる。でも、新しい
医療ガイドラインを作っていくのが大学
病院の役割なのでです。

脳卒中を起こすと、昔は「命が助かっ
て良かったね」と言われたものでした。そ
れがやがて「蘇生費」で歩けるようにな
るまでの「貫
ながっていく
最高の脳卒
中の治療の幅
発症して倒
れるまでの「貫
ながっていく
る」という脳か
「肘や膝を
るハーディ
ング」
「スチ」「ル
入しました。
て良いかだね」と言
われたものでした。そ
れがやがて「蘇生費」で歩けるようにな
るまでの「貫
ながっていく
前とほとんど変わらない状態にまで回
復させる可能性が随分と高まつきました
した。井上先生は、そのような時代にお
ける脳外科医の役割を次のように語り
ます。

「手術の後はハービリ科に任せること
うではなく、ハービリ科と協力して患
者の意思を尊重する、それが本當の脳外
科医なのであります。もちろん、お母さん
の意見を尊重する、それが本當の脳外
科医なのであります。」



脳卒中医療の やりがいを伝えるために

脳卒中医療のやりがいを伝えるために

脳卒中とは、くも膜下出血や脳梗塞といった脳の血管障害によって起る疾患の第3位となるいる恐ろしい病気です。福岡大学病院で、この脳卒中医療に果敢に挑み続いている医師がいます。それが井上亨先生です。

井上先生は、大学卒業以来ずっと脳卒中と向き合ってきた脳神経外科医。2008年、大きな目標を掲げて、国立病院機構九州医療センターから福岡大学医学部教授として着任しました。その目標とは、大規模な脳卒中の構造です。

「福岡市および九州地区における脳卒中治療は、先端を走る東北地方と比べるとかなり遅れています。その要因の一つに、脳卒中治療に対する体系的な教育環境の希薄さが挙げられます。私は九州医療センター時代から、内科の先生とともに一緒に立ちて、脳卒中重症までさまざまなお患者さんを若い医師と一緒に診てきました。しかし、なかなか次世代にも医療技術が育たない、いや、なかなか次世代にも医療制度の変更によって、研修医が卒業後すぐに脳神経外科の医局に入局してこない。さらに、医療費に対するクレーミングを避けるため、外科を敬遠する動きも大きくなっています。これでは、脳卒中治療のやりがいを伝える場がないわけです。そこで、設備が整った、内科も外科も救命救急センターもあり、大学の医学部に注目したのです。恵ま



身長175cm人の血管モデルを使ってのカーテールの練習。

マイクロサージャリー（手術顕微鏡）の第一人者である井上先生は、医学部内にマイクロサージャリー・俱楽部を創設しました。医学部4学年生から所属できるこの俱楽部は、将来マイクロサージャリーを駆使して医学の発展に貢献する若い医学生の要望と、マイクロサージャリー研究室スタッフの熱い指導意欲によって誕生しました。現在は、3台のマイクロサージャリー訓練機が導入され、井上先生の指導の下、微小血管吻合のトレーニング、顕微鏡、微小脳神経外科解剖技術の習得を行っています。

「若い世代に手術では負けませんが、パソコンの扱いでは完全に負けてしまいます（笑）。でも福岡大学医学部の最大の強みは臨床。その環境を生かなければ、技術では絶対に負けない医師になれる。次世代の若者たちが脳卒中医療に魅力を感じて、私たち世代を追い越していく環境は、やはり大学しかないので。この大学で頑張ればどこに行っても負けない脳外科医になれるはずです」。

「課外活動で経験する上下関係、部員顧問という肩書きもあります。課外活動が一丸となつて一つの目標に向かつて助け合う結束力。それはまさに脳外科医に欠かせないチーム医療の基本につながっているのです」。

そして井上先生は、「自分のエネルギーの半分は将来の脳卒中医療を担う学生のために使う」と語ります。



朝7時過ぎから行われる脳神経外科のカンファレンス。

「ほとんどの学生と一緒にご飯を食べに行くので、最近7kgも太ってしまいました。私のチームは土日はフリーですが、月曜から金曜までは朝7時からビッシリと勉強してもらいます。朝が早いと生活にリズムが生まれますからね。ほかにも、年に4回花見バーベキュー、旅行、忘年会という親睦行事は絶対参加です。しっかり息抜きすることで私のボリシーです」。お酒に詳しく、ワインに対する造詣が深い井上先生は、研修医にお酒の雑学を披露することもあります。それは、有能な脳外科医である前に、幅広い趣向を持つた人間味のある医師であれという教えなのかも知れません。

「医療はやはり『人』なんですよ。先端技術はもちろん大切ですが、患者さん立場に立ってその技術を使えるような脳外科医を育てていく。そうすれば、九州一どころか世界の脳卒中センターを目指せるでしょう」。



井上先生を中心とした脳神経外科スタッフの皆さん。



マイクロサージャリー（手術顕微鏡）のトレーニングマシンで指導する井上先生。



第22回懸賞論文の表彰式を開催

平成23年11月28日(月)、学生部事務室棟会議室で、第22回懸賞論文の表彰式を行いました。懸賞論文の募集は、福岡大学の学生を対象に学生部が毎年主催しています。今回のテーマは「現代」。学生の持つ考えを自由な発想で論文にまとめてもらい、それを広く発表する機会を与えることを目的としています。

今回は、高岡千容さん(医学部医学科第3学年)の「在宅医療と節電的重要性」、江頭菜保子さん(人文学部教育・臨床心理学科1年次生)の「節電に対する意識改革と国家政策」、田邊雅俊さん(工学部化学システム工学科4年次生)の「現代を考える」福大生として考える節電」の3編が佳作として選ばれ、小野寺一浩学生部長から賞状と奨励金が贈られました。



課外活動の成績優秀者を表彰

平成23年10月3日(月)、60周年記念館ヘリオスホールで、平成23年度上期の課外教育活動成績優秀者の表彰式を行いました。課外活動において優れた成績を収めた10人および2団体に対し、衛藤卓也学長から表彰状が贈られました。



成績優秀（個人表彰）

学友会名	氏名(学部および年次)	大会名および種目	結果
書道部	福德 亮さん(薬学部5年生)	第16回全日本高校・大学生書道展	大賞(3年連続)
		第28回読売書法展	特選
陸上競技部	高武 華子さん(薬学部3年次生)	第27回静岡国際陸上競技大会 女子走幅跳	優勝
		第95回日本陸上競技選手権大会 女子走幅跳	2位
	中西 拓郎さん(スポーツ科学部3年次生)	2011日本学生陸上競技個人選手権大会 女子走幅跳	優勝
		第80回日本学生陸上競技校選手権大会 女子走幅跳	優勝
	岡部 優真さん(スポーツ科学部3年次生)	2011日本学生陸上競技個人選手権大会 男子5000M	優勝
		第80回日本学生陸上競技校選手権大会 男子10000M	3位
	吉田 麻佑さん(スポーツ科学部4年次生)	2011日本学生陸上競技個人選手権大会 男子三段跳	優勝
		第80回日本学生陸上競技校選手権大会 男子三段跳	優勝
硬式野球部	原田 尚明さん(スポーツ科学部4年次生)	第80回日本学生陸上競技校選手権大会 男子棒高跳	2位
ヨット部	梅野 隆太郎さん(スポーツ科学部2年次生)	第38回日米野球選手権大会	20打数6安打
	九層 正規さん(経済学部4年次生)	2011年度全日本学生ヨット個人選手権大会 国際スナイプ級	2位
モーターボート・水上スキー部	牟田 知洋さん(スポーツ科学部4年次生)	2011チャンピオンシリーズ 男子スラローム	優勝
		2011チャンピオンシリーズ 男子ジャンプ	優勝
	羽釜 駿次郎さん(スポーツ科学部4年次生)	第56回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会 男子スラローム	優勝
		第56回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会 男子トリック	優勝
		第56回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会 男子ジャンプ	優勝

成績優秀（団体表彰）

学友会名	大会名および種目	結果
準硬式野球部	第63回全日本大学準硬式野球選手権大会	準優勝
モーターボート・水上スキー部	第56回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会 男子総合	3位
	第56回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会 女子総合	3位

(平成23年4月から9月)

彼らは何を見て何を学んだか

—東日本災害ボランティア「福岡大学派遣隊」アンケート—

昨年8月、東日本災害ボランティアとして93人の学生が参加した「福岡大学派遣隊」。その活動について本誌前号で紹介しましたが、参加者にアンケート調査を行った渡辺浩先生に参加者の意識の変化などについてお聞きしました。このアンケートは、「福岡大学派遣隊」に参加した学生全員が対象で、出発の前々日と活動最終日に実施しました。

経験を通して 本来の大学生のあるべき姿に

工学部社会デザイン工学科
渡辺 浩 准教授

今回のアンケート結果は、学生が当然の反応をしてくれたと思っています。被災地に行っている間の5日間で、参加者の意識が大きく変わったことは聞いていましたし、参加者に直接話を聞いても「変わった」という返事がたくさん返ってきました。(問1)と(問2)を見ると、彼らがどれだけ充実した活動を行ってきたのかがすぐに分かるでしょう。

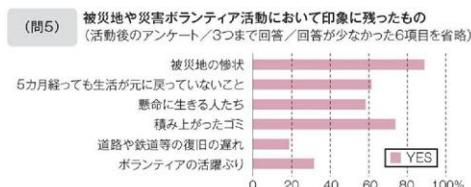
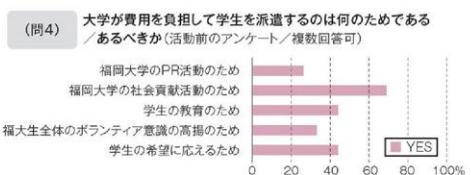
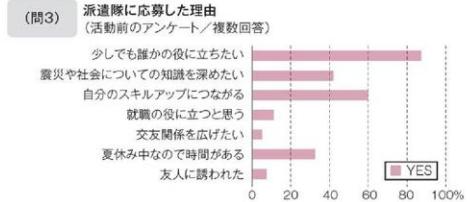
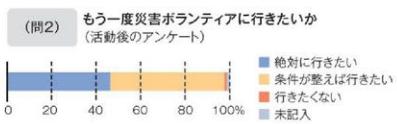
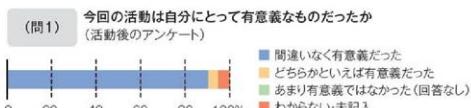
活動前の「派遣隊に応募した理由」(問3)という問い合わせに対して、最も多かったのが「少しでも誰かの役に立ちたい」という回答でしたが、実際には戸惑いがあったと思います。これは今回の派遣隊の反省点でもあるのですが、5月に決定した組合みで8月に活動を行つたため、被災地からの要求の変化に対応させることができなかつたのです。被災地の支援活動は、災害ボランティアから復興支援ボランティアへと変化する時期だったので、実際には、彼らが出发前に抱いていた活動のイメージとは違っていた可能性が高いでしょう。

また、同じく活動前の「大学が費用を負担して学生を派遣する目的」(問4)では、「福岡大学の社会貢献」という回答がトップでした。この結果は想像どおりではあったのですが、大学の社会貢献なら教職員が行えばいい話。しかし、本当の目的は、あくまで参加した学生が今回の経験を生かして、将来地域や職場のリーダーとして活躍してもらっています。それを身をもつて実感してくれた参加者は、次に自分たちが何をしたいのかを真剣に考え、話し合いの機会を持ち、周囲にも自分たちの経験を伝えようとしています。まさに、本来の大学生のあるべき姿になってくれたと思います。

財布と携帯電話を持ち、近くにコンビニさえあれば生きていける時代。今の日本では「生きることに努力」するということがほとんどありません。でも、実際に被災地では多くの方が「生きることに努力」をされている。それも徐々に「生活することへの努力」に変わりつつあります。被災地でそのような方々と触れ合ったことで、福岡に戻ってきてからの自分の生活に変化が出てきたという学生も多くいます。

大切なことは「これから何をすべきか」です。せっかくこれだけ意識が高まったわけですから、参加した学生の皆さんにはもっと外出していくつよいと思います。被災地のみならず、地域の市民ボランティアでも福岡大学の人手を期待しています。もっと外に出て、仲間を誇り、多くのの方々と触れ合う機会を持ってほしいと願っています。今回のアンケートでもそのような活動をしたい、次のステージで新しい経験をしたいと答えた学生が少なくありませんでした。その点では、今回の派遣隊はとてもいいきっかけを与えることができたと言えるでしょう。

派遣隊に参加した学生の皆さんのが経験として何を感じ、今後何を求めているのか。それを大学としてもしっかり考え、支援していくことが大切だと思います。



ARCHIVE

—甦る記憶—

この学び舎には、歴史があり、伝統がある。
この一枚は、今のあなたにとって単なる「昔の写真」でも、
いつか、あなたの「誇り」となるだろう。



昭和39年度卒業式壇上の今村先生(中央)

今村先生の胸像が文系センター授業付属にあります。

今村先生のこの声は、およそ半世紀たつた今

【卒業式での学長告辭】

大学史資料室に、昭和39年度福岡大学卒業式で学長告辞を述べる今村先生の肉声が録音された聴覚資料が保存されています。その一部を要約して紹介します。

「ケンブリッジ大学やダーリン大学では卒業式のことをcommencementと呼んでいますが、これは人生の始まり」「社会への門出」ということ

であります。人生とは社会生活であり、社会生活は一面では闘争の生活自己主張の生活)です。學問の研究も人格の修養も卒業によって始まり、一生続けなければならない仕事です。大學時代の良い成績に慢心してはなりませんし、悪い成績に劣等感を持つ必要もありません。学校時代の成績ではなく、卒業後の努力、精進の如何でしかり、ます。従つて、今後における諸君の努力こそ諸君の運命を開くものであると思います。また諸君と福岡大学とは卒業によって絆は断ち切れないものになったわけです。諸君は福岡大学の看板(名譽)を背負っているわけであります。

今村先生のこの声は、およそ半世紀たつた今でも新鮮な言葉として残ることができます。

EVENT SCHEDULE

*各学部や学年などによって異なる場合があります。

1月 冬季休業終了(4日)
後期授業再開(5日)
大学入試センター試験(14日・15日)
後期授業終了(17日)
後期定期試験(18日・26日)

2月 学部留学生入試(2日)
一般入試(前期日程)(本学:各地4日~9日、11日、12日、15日)
医師国家試験(11日~13日)
成績発表開始(医学部医学科第1学年)(14日)
(4年次以上 他)(16日~)
保健師国家試験(17日)
海外研修生派遣(オーストラリア)(アメリカ)(17日~3月16日)
看護師国家試験(19日)
大学院春季入試(19日~22日)
海外春期中国語研修生派遣(中国)(19日~3月4日)
一次学士合格者発表(21日)
一般入試(前期日程)、センター・プラス型入試、
大学入試センター試験利用入試合格発表(22日)
学部留学生入試合格発表(22日)
道・再試験(27日~3月2日)
修士・博士学位合格者発表(29日)
交換留学生派遣(中国・韓国・台湾)

3月 一般入試(スポーツ科学部特別募集)、
社会人入試(後期日程)、編・転・学士入試(3日)
薬剤師国家試験(3日・4日)
大学院春季入試合格発表(5日)
一般入試(後期日程)(6日)
二次学士合格者発表(14日)
一般入試(後期日程)、スポーツ科学部特別募集)、
社会人入試(後期日程)、編・転・学士入試合格発表(15日)
在学生成績発表開始(16日~)
医師国家試験合格発表(19日)
学部卒業式・大学院学位記(修士)授与式(19日)
商学部第二部卒業セレブション(19日)
大学院学位記(博士)授与式(22日)
看護師国家試験合格発表(26日)
保健師国家試験合格発表(26日)
薬剤師国家試験合格発表(30日)
在学生履修登録(下旬)

4月 入学式(1日)
前期授業開始(9日)

二十四節気

1/21頃 大寒(たいかん)	一年でも最も寒い時期。しかし日脚は伸びており、少ししづつ春の訪れを感じる。
2/4頃 立春(りっしゅん)	寒さも解け、日が長く感じられる。この日から立夏の前日までが春。
2/19頃 雨水(うすい)	雪が次第に雨へと変わり、氷が解け水になる。春一番が吹き、草木がよみがえる。
3/5頃 啓蟄(けいちつ)	地中にもぐっていた虫がはい出て動き出す。一雨ごとに春を感じる。
3/20頃 春分(しゅんぶん)	昼夜の長さがほぼ等しくなり、この日を境に昼が長くなっていく。
4/4頃 清明(せいめい)	清浄明潔の路。天地がすがすがしく明るい空気に満ちること。
4/20頃 穀雨(ごくう)	田畠の準備が整い、穀物を育てるように春の雨が降る。

*二十四節気は、太陽暦を使用していた時代に、季節を表すための工夫として考案されたもので、1年を24等分にし、その区切りに名前を付けたものです。現在でも季節の節目毎に、これを示す言葉として使われています。
(付は1日程度前後することがあります)

ななくま通信 ● NANAKUMA Communication

受章

平成23年秋の叙勲で、本学推薦の高田桂一名誉教授、水谷守男名誉教授および栗原寛人名誉教授が瑞宝中綬章を受章されました。

これは各名誉教授が、長年にわたり高等教育と私学経営の両面に携わり、福岡大学の充実発展に貢献するとともに、本学を通じて教育界・地域社会の発展に寄与した功績によるものです。

伝達式は、11月10日(木)、東京・国立劇場で行われました。

モーター・ポート・水上スキー部の羽釜さんがアジア大会優勝

全日本学生水上スキー選手権大会(インカレ)で、3種目の完全優勝を成し遂げた羽釜駿次郎さん(スポーツ科学部スポーツ科学科4年次生)が、昨年10月にマレーシアで行われたアジア大会に日本代表として出場。個人のオーバーロール部門(3種目総合)で見事優勝しました。また、男女混成の5人で競う団体では、羽釜さんが唯一の学生として奮闘。一般的の代表選手に交じって見事な演技を披露し、団体総合優勝に大きく貢献しました。

アジアナンバーワンの羽釜さんは、世界ナンバーワンを目指し、1月開催の世界大会に出場しました。

読売書法展で特選を受賞

書道における国内最高水準の公募展である「第28回読売書法展」において、福岡大学書道部福徳亮さん(美術部美学科5年次生)の作品が特選に輝きました。

大学生が特選に選ばることは非常に珍しく、大学で書道を専門課程として学んでいない福徳さんは選ばれたことは、快挙と審査委員からの評価を得ています。福徳さんはほかに、「全日本高校・大学生書道展」でも3月連続大賞を受賞しています。



夏目漱石の「思い出す事など」より。

商学部第二部が「社会人コース」履修生を募集

商学部第二部商学科では、会社員、中間管理職、経営者、熟年層、リカレント教育希望者等の社会人を対象に、1年間の履修期間でビジネス・マネジメントを体系的に学べる「社会人コース」を開設しています。コース修了者には、学校教育法第105条に基づく履修証明書(社会人コース修了証)を授与します。1年間で修了できない場合には、1年間の延長も可能です(追加受講料は不要)。平成24年度履修生募集の詳細については、商学部事務室にお問い合わせください。

地域の福大サポーター

Fukuoka University supporters in the region
福岡大学の歴史とともに変貌を遂げてきた街の風景。
今も昔も変わらないのは、学生の皆さんを見守る温かいまなざし。

3 お好み焼 ひらの 福岡店

○福岡市城南区七隈5-7-26 ○092-865-7355

「福岡の学生さんは食へつぶりがよくて、作っている私も気持ちはいいです。」
「福岡の街をお店に出しました」と、七隈の街でお好み焼を提供する宮田さん。



広島出身の人も多く訪れます。

本場の広島から取り寄せるソース・天かす・麺が決め手

広島市の老舗お好み焼き店から唯一のれん分けを許されたお店が七隈に店舗では宮田雄平さんがいます。宮田さんは福岡県直方市の出身ですが友人がいる広島を訪ねた際に「ひらのの味」魅了され脱サラして2年半もの間、本店で修業を積んだそうです。



4 久留米ラーメン 福竜軒

○福岡市城南区梅林2-26-24 ○092-861-7475

「福岡の大学を語る宮田さん、から取り寄せています。お金を気にせずにお好み焼を食べてもらいたかったので、学生の街をお店に出しました」と、七隈の街でお好み焼を再現するための地を選んだ理由を語る宮田さん。



「まだ頑張ってますね」と訪ねてくる卒業生も多いとか。

36年前と同じ価格で提供大人気メニューを

道路整備で数十町の移動はあったものの、梅林で36年続いているお店の雰囲気はほとんどそのまま。雑味のないさりとてした久留米ラーメンがメインですが創業以来大人気のが「肉いため定食」。独特のタレで炒めた薄い豚バラ肉はご飯が何杯でもいけそうな味。ボリューム満点のこの定食を36年前と同じ500円で提供します。



七隈カルチャーセンター

○福岡市城南区七隈8-4-8 ○092-863-5535

七隈カルチャーセンター

1

ラスク・ド・アンジュ

○福岡市城南区松山2-16-3 ○092-407-0039



ラスクは2枚入りでそれぞれ150円からと手軽。



小さな店内、手作りのラスクがずらりと19種類。小さなサイズが2枚入りの小分け包装で販売されているので、気軽にいろいろな味を楽しめます。

「ラスク」というと固いイメージがありますが、小さなお子さんから高齢の方まで、サクサク軽く味わっていただけのが当店の特長です。バジル味やカーリング味などはおまかしてもらえた味あります」と語るオーナーの吉川孝之さん。



パン職人が手作りする19種類のラスクが勢ぞろい

趣味と実益を広げる8コース40講座を開設

2

七隈カルチャーセンター

七隈フミリーブリザの横に位置し、創設30年を超えるカルチャーセンター。美容・健康・美術・書道・外語などの8コース内に約40種類の講座を開設しています。

「幅広い層の生徒さんに喜んでもらえるよう、時代の流れに合わせてさまざまな講座を開設しています。福岡大学の学生さんの中には、就職が決まりから筆ペン・ボールペン・習字を習いに来られる方がいらっしゃいます。就職活動の前から習っていたりなど、もっとアピールの幅を広げられると思います」と語るのは受付担当の田村トモ子さん。

各講座は1回の開催で参加者は周辺地域の方々が主ですが、幅広い年齢層と触れ合える良い機会になります。





「学宝」 探訪

vol.8 うみんぐ大島

宗像市の神湊からフェリーで約25分。風光明媚な離島・大島の一角にある「うみんぐ大島」は、磯に沿った遊歩道、海に突き出た釣り防波堤、子どもでも楽しめる釣り堀などからなる海洋体験施設です。昨年の春オープンしたこの施設は、2011年グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞し、多方面から注目を集めています。

福岡大学から遠い距離にある海洋体験施設が、なぜ「学宝」なのか——実は、この施設のデザイン・設計を担当したのが、本学

工学部の柴田久准教授の景観まちづくり研究室なのです。

「デザインする上で大切だったのは、景観と安全性の両立。今回は、限られた予算の中で消波ブロックから検討を始めました。テーマは『愛嬌』。子どもたちにたくさん来てほしいという思いから、防波堤の堤頭部は鯨の形をモチーフにしながら考えていきました」と語る柴田先生。

2007年から足掛け4年を費やしたプロジェクトでしたが、その間に景観まちづくり研究室に在籍した学生たちは、福岡県や宗

像市、建設コンサルタントなどが集まって行われる企画会議にもプロジェクトの一員として参加。そこで学生たちが出したアイデアが実際の計画で随所に生かされています。

「実社会に形として残る物をつくることは、社会に対して責任を負うことでもあります。このプロジェクトを通して、学生たちはそれを実践の中で理解し、成長していくくれました」。

優れた公共デザインを生み出すまでの体験、その体験を提供できる教育環境こそが「学宝」なのです。